学校番号	1301

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育」（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぼう。
・環境問題を知り、個人や社会の取り組みを知りその解決方法を考えよう。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知ろう。
・健康や保健に関する社会の制度やサービスを知ろう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	・健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	・健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	現代社会と健康	精神疾患の特徴 1. 精神疾患の原因・種類からなりやすい人の特徴を知る。 2. 現代における精神疾患の課題を理解し、考える。	a:精神疾患の原因が精神的、身体的など複雑に絡み合って起きることを説明したり、記述したりすることができる。 b：精神疾患になりやすい人の特徴を理解し、自身の考えをもとに現代の課題を考えたり、説明することができる。 c：精神疾患について資料を集めたりして、学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		精神疾患の予防 1. 精神疾患を予防するための方法を知る。 2. 精神疾患の治療法や周りの人のサポートが必要なことを理解する。	a:精神疾患の予防について精神的、身体的など複雑に絡み合って起きることを説明したり、記述したりすることができる。 b：精神疾患になりやすい人の特徴を理解し、予防法について、説明することができる。 c：精神疾患について資料を集めたりして、学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
	安全な社会生活	事故の現状と発生要因 1.事故の実態と被害の実態を知る 2.事故の人的要因と環境要因を関連づけて理解する	a:事故の実態や被害の実態について正しく理解し要因には人的要因と環境要因があることを説明したり、記述したりすることができる b:事故の実態や要因について、理解したこと、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる c:事故ついて資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価

		安全な社会の形成 1.安全を確保するために必要な環境整備について考える	a:安全のために必要な個人の行動を説明したり、記述したりすることができる b:安全や環境整備について考え、自身の考えを整理し、説明することができる c:事故について調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		交通における安全 1.交通事故防止における個人の取り組みを知る 2.交通事故における責任を3つ知る	a:交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について理解できる b:具体的な事例などと比較したり分析したりする。また、筋道を立てて説明することができる c:交通事故における責任を調べるなどの学習活動に取り組もうとする	・確認テスト	ノート、プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		応急手当の意義とその基本 1.応急手当の意義について説明できる 2.傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントを知る	a:応急手当の意義を理解し、その手順を説明したり、記述したりすることができる。 b:応急手当について、理解したことを実践したり、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c:応急手当について資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		日常的な応急手当 1.日常的なけがや熱中症の応急手当について説明できる 2.実際に日常的なけがを手当できる	a:日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や身体のしくみを説明したり、記述したりすることができる。 b: 日常的なけがや熱中症について、理解したことを実践したり、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c:日常的な応急手当について調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価

		心肺蘇生法 1.心肺蘇生の方法と手順について説明できる 2.実際に心肺蘇生法を行うことができる	a:心肺蘇生法の手順や身体のしくみを説明したり、記述したりすることができる。 b:心肺蘇生法について、理解したことを実践したり、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c:心肺蘇生法について調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
ステージ2	生涯を通じる健康	結婚生活と健康 1.ライフステージと健康の関連について説明できる 2.各ライフステージで活用できる社会からの支援について知る	a:結婚、出産など各ライフステージの健康課題について説明したり記述したりすることができる。 b:結婚生活や家族に起こりえる健康課題を考え例にあげて説明することができる。 c:結婚生活の健康課題や社会の制度ついて資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		中高年期と健康 1.加齢にともなう心身の変化について理解する 2.高齢社会に必要な社会的な取り組みについて知る	a:加齢にともなう心身の健康課題や身体機能の低下について説明したり記述したりすることができる。 b:高齢期の健康と若いころの生活習慣の関連を理解し、けがや病気やのリスク低下のための行動を説明することができる。 c:高齢者の健康を支える社会の取り組みやしくみについて調べ、まとめるなどの学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		働くことと健康 1.働くことの意義と健康のかかわりについて説明できる 2.働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる	a:働くことの意義やそれに伴う健康問題を理解するとともに現代の働き方の変化についても理解し説明したり記述したりすることができる。 b:働くことで起こりえる健康問題や健康被害について理解し、自身でできる予防や対処について説明することができる。 c:働くことの健康課題について、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価

		健康的な職業生活 1.職場がおこなう健康に関する取り組みを知る 2.余暇を積極的にとることの意義について説明できる	a:労働中の事故の種類やリスクや企業や社会の取り組みについて理解し説明したり記述したりすることができる。 b:労働中の事故の種類やリスクについて自身の考えや課題解決策を導き出すことができる。 c:労働災害の要因や防止について資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
ステージ2	健康を支える環境づくり	保健サービスとその活用 1.保健行政の役割について説明できる 2.保健サービスの活用の例をあげることができる	a:保健行政や保健サービスの内容や活用法について理解し説明したり記述したりすることができる。 b:保健行政や保健サービスの内容や活用法を理解するとともに自身の生活に置き換えて実践することができる。 c:保健行政や保健サービスについて資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		医療サービスとその活用 1.医療保険のしくみについて説明できる 2.医療機関の役割について説明できる	a:医療保険のしくみや医療サービスについて理解し説明したり記述したりすることができる。 b:医療保険のしくみや医療サービスの内容や活用法を理解するとともに自身の生活に置き換えて実践することができる。 c:医療保険や医療サービスについて資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
ステージ2	健康を支える環境づくり	医療品の制度とその活用 1.医療品の正しい使用法について説明できる 2.医薬品の安全を守る取り組みについて説明できる	a:医薬品の種類や使用法について理解し説明したり記述したりすることができる。 b:医薬品の種類や使用法を理解するとともに副作用のリスクについても理解し、説明や実生活で活用することができる。 c:医薬品の種類や使用法について資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価

		さまざまな保健活動や社会的対策 1.国際機関・民間機関などの保健活動について説明できる 2.行政機関による社会的対策について説明できる	a:国際機関や民間機関の保健活動について理解し説明したり記述したりすることができる。 b:国際機関や民間機関の保健活動について理解するとともに自身の生活やライフステージにあった制度を活用することができる。 c:自治体や行政機関による社会的対策について資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		健康に関する環境づくりと社会参加 1.健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる 2.環境づくりへ参加と自他の健康づくりのつながりを知る	a:健康と環境づくりの関連について理解し説明したり記述したりすることができる。 b:健康のための環境づくりについて理解するとともにヘルスリテラシーの向上を図り、個人や社会全体の健康につなげて実践することができる。 c:健康と環境づくりとの関係や現代の社会の取り組みについて資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
ステージ3		大気汚染と健康 1.大気汚染の原因と健康への影響について説明できる 2.大気にかかわる地球規模の健康問題を知る	a:大気汚染の原因と健康影響について理解し説明したり記述したりすることができる。 b:大気汚染の原因と健康影響について理解するとともに地球規模の問題についても理解し考え説明することができる。 c:大気汚染の原因と健康影響についてやり地球規模の問題について資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価

ステージ3	健康を支える環境づくり	水質汚濁、土壌汚染と健康 1.水質汚濁、土壌汚染の原因について説明できる 2. 水質汚濁、土壌汚染の健康影響について説明できる	a:水質汚濁、土壌汚染の原因と健康影響について理解し説明したり記述したりすることができる。 b:水質汚濁、土壌汚染の原因と健康影響について理解するとともに地球規模の問題についても理解し考え説明することができる。 c:水質汚濁、土壌汚染の原因と健康影響についてやり地球規模の問題について資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		環境と健康にかかわる対策 1.環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる 2.産業廃棄物の処理について説明できる	a:環境汚染の防止とその対策について理解し説明したり記述したりすることができる。 b:環境汚染の防止とその対策について理解するとともに産業廃棄物の処理や法律についても理解し説明することができる。 c:環境汚染の防止とその対策や産業廃棄物の処理の課題について資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価
		ごみの処理と上下水道の整備 1.ごみの処理の現状について説明できる 2.上下水道のしくみと健康について説明できる	a:ごみの処理の現状や安全で良質な水の確保のための上下水道の整備について理解し説明したり記述したりすることができる。 b:ごみの処理の現状や安全で良質な水の確保のための上下水道の整備について理解するとともに循環型社会や有害物質についても理解し説明することができる。 c:ごみの処理の現状や良質な水を確保するための課題について資料を見たり調べたりして学習活動に取り組もうとする。	・確認テスト	プリントの記述	・受講態度の観察 ・自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度